

## 大学院博士前期課程 2015 年度修了予定者への通知 「修士論文(設計)による修士課程修了」について

大学院建築学域では、設計作品を成果物の主体とする修士論文の作成によって、博士前期課程を修了することができます。

これは、研究成果としての建築物の設計を、卒業設計と同様な形式で時間をかけて行うものですが、関連する研究を同時に行い、設計の成果物(図面等)とともにまとめて提出することも義務づけられています。また、修士研究の要旨(設計概要)を従来の修士論文と同様な形式で提出すると共に、梗概を準備し、修士論文の発表会で設計成果物のプレゼンテーションを行うこととなります。むろん、設計内容としては、ハイレベルなものが要求されます。

建築学教室では、若干名の修士課程の大学院生が、このような形式で修士課程を修了することを期待しています。

この形式で修士課程を修了することを希望するものは、指導教授と十分に相談した上で、6月9日(火)午前9時から正午の間に9階建築ロビーの定められた場所に、修士論文の目論見書(氏名、学修番号、指導教員、修士研究の目論見を記載)をA4用紙2枚(もしくはA3用紙1枚横使い)にまとめて掲示してください。掲示は6月11日(木)17時まで行います。以降の希望は認められません。6月下旬までに、可否を通知します。

2015年4月9日  
建築学域長  
須永 修通